



水・インフラ事業の海外展開等に関する相互協力協定企業 OKAMURA

“ヤンゴン南部デルタ貧困地域の水衛生環境改善に向け自社技術展開を” ～ ヤンゴン地域の均衡のとれた持続可能な成長へ寄与したい～

この度、神戸市と水・インフラ事業の海外展開に関する相互協力協定を結び、当公社とともにミャンマー国ヤンゴン地域の水衛生環境の調査を進めてきた、世界の社会インフラを支える技術集団 株式会社 OKAMURA (神戸市兵庫区) の企画案が、国際協力機構 (JICA) の 2018 年度第 1 回中小企業海外展開支援事業「案件化調査」に採択されました。

ヤンゴン南部デルタ地域は、エーヤワディ川 (イラワジ川) 河口に広がる米作農業地域ですが、洪水等の災害に脆弱な沖積平野です。2008 年に西隣接のエーヤワディー地域からヤンゴン地域を襲ったサイクロン・ナルギスは、13 万 8 千人超の犠牲者と家屋や耕作地などに壊滅的な被害を及ぼしました。この南部デルタ地域では 8 割超の土地が冠水しました。

神戸市は、被災地の復興に向け救急車を贈る一方、㈱OKAMURA や同じく相互協力協定企業である㈱神鋼環境ソリューション等とともに水環境調査や関連インフラ整備の可能性を検討するとともに、JICA や国土交通省を通して、ヤンゴン地域政府、ヤンゴン市および同国建設省へまちづくりや法制度整備の技術協力を続けてきました。16 年に神戸のまちづくりを視察されたヤンゴン地域首相ピョー・ミン・テイン閣下は「私の国では、まだまだ人々が食べていくのに精いっぱいインフラへの資金が・・・」と仰っていましたが、きらびやかに開発の進むヤンゴン市と貧困を抜け出せない南部デルタ地域等地方部との格差是正に精力的に取り組まれています。神戸で同首相に出会われた㈱OKAMURA は、この「貧困の削減」と「格差の是正」に向け、「南部デルタ貧困地域の水衛生問題改善のための病院・市場等への高度浄化槽導入」を目標に、昨年 8 月、事業企画書の事前調査に入りました。

浄化槽の導入対象としては、住民にとり拠点となる公共施設としました。開発途上国のトイレでは、一般的に日常管理の行き届きにくい腐敗槽が設置されており、同地域でも不特定多数の人々が行き交い生鮮食料が途切れなく並ぶ市場や、伝染性細菌等保菌者も関係する病院などでは、決して衛生的な環境とは言いがたい状況でした。洪水被害の頻発する地域では、特に幼児や高齢者にとり、適正な汚水処理が不可欠です。調査は、ピョー首相はじめ、開発大臣、地域開発委員会の協力体制により、順調に進めることができました。

同社の浄化槽は日本式のそれではありますが、アジア諸国それぞれの気候や水質に対応できる独自の個別製造方式の開発が終盤を迎えていました。また、利用者負担を軽減するため、製造工程は同社のベトナム現地法人におきコスト削減を図っています。今後、ミャンマー国全体の地方部に住む人々の水衛生環境の改善、生活環境の向上を目指し、高度浄化槽の普及を推進する㈱OKAMURA の海外展開に協力・支援を続けていく予定です。

〔これまでの神戸市及び神戸すまいまちづくり公社と本社との協働調査・活動等〕

2013 年度 厚労省海外水ビジネス官民連携型案件発掘形成事業 (ミャンマー国)

2014 年 JICA ヤンゴン都市開発セミナーにて「日本の国土計画と神戸の都市開発計画」等を講演

2015 年 JICA 草の根「ミャンマー国地方部への簡易水道の導入事業 (共同事業体構成員)」応募

2015、16、17、18 年度 ミャンマー国建設省「都市・地域開発計画法及び施行規則」策定支援

2016 年 ヤンゴン市副市長等「JICA 神戸都市開発研修・視察」の受け入れ実施

同 年 ヤンゴン地域首相招聘事業「神戸都市開発視察」の受け入れ

国土交通省による緬甸建設省「都市・地域開発計画法及び施行規則」策定支援に参画

“ヤンゴン地域・ヤンゴン市と神戸市との都市開発技術交流から水衛生環境改善調査へ”



H28年9月、ピョー地域首相の神戸都市開発視察
左端から 岡村氏(OKAMURA)、ニラー インフラ大臣、
中央 ピョー首相、鳥居前副市長、トゥレイン駐日大使



H28年7月、神戸都市開発研修(ヤンゴン市、建設省)
ライン・モー・ウー ヤンゴン市副市長、鳥居前副市長



H29年8月、ピョー地域首相、ニラー インフラ大臣、マウ
ン開発大臣へ JICA 事業展開に向けての協力要請
(ヤンゴン地域政府発表資料より)



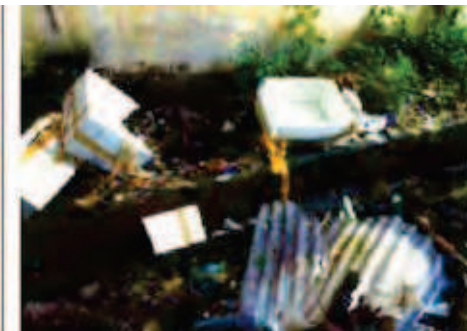
タンリン郡区の市場(賑わう市民の台所)



タンリン郡区市場の腐敗槽の増設工事



チャウタン郡区病院のトイレ



タンリン郡区市場のトイレ腐敗槽と越流排水路(河川、海へと放流される)